

問1 モーセがシナイ山で神から授かったとされる、ヘブライ人の守るべき基本的な戒律であり、「隣人の家を欲してはならない」など他者の所有物を欲することを戒める規定が含まれている、旧約聖書に記された律法のコア部分を何というか。 (2025年 全国公立入試 類似)

1. 契約 2. 律法 3. 聖書 4. 十戒

問2 人間の本性は善であるとし、内面における善の充実こそが美であると考えた。そして、外的な規範や音楽である礼楽を、人間の内なる道徳性に根ざしたものとして位置づけ、道徳的实践を重視した中国戦国時代の思想家は誰か。 (2025年 全国公立入試 類似)

1. 莊子 2. 孟子 3. 荀子 4. 墨子

問3 ユダヤ教のファリサイ派に属していたが、復活したイエスとの出会いを契機に回心し、異邦人への伝道に生涯を捧げた人物は誰か。彼は、人間は律法の行いではなく、イエス＝キリストによる贖罪を信じることによってのみ神から義と認められ救済されるという思想を唱え、キリスト教の世界宗教化に決定的な役割を果たした。 (2005年 全国公立入試 類似)

1. ヨハネ 2. ペテロ 3. ルター 4. パウロ

問4 古代中国の思想において、儒家が仁や礼といった人為的な道徳を重視したのに対し、そうした作為を否定し、宇宙の根本原理である「道（タオ）」に身をまかせ、あるがままに生きることを理想とした思想を何というか。 (2006年 全国公立入試 類似)

1. 無為自然 2. 兼愛非攻 3. 信賞必罰 4. 易姓革命

問5 古代ギリシアの自然哲学者たちは、世界の多様な変化の背後にある、不変で一なる「万物の根源」を探究した。この「根源」や「始原」を指すギリシア語は何か。 (2024年 全国公立入試 類似)

1. ログス 2. ピュシス 3. ノモス 4. アルケー

問6 儒家の荀子から学び、人間の本性を悪とする見方を受け継ぎながらも、道徳や礼による教化を否定し、君主が「二柄」と呼ばれる褒賞と刑罰の権限を握って客観的なルールにより臣下や人民を統制すべきだと説いた、中国戦国時代の思想家は誰か。 (2024年 全国公立入試 類似)

1. 公孫竜 2. 呂不韋 3. 申不害 4. 韓非子

問7 万物の根源である「一者」からすべてが流出したとする流出説を唱え、のちのキリスト教神学、特にアウグスティヌスなどの教父哲学に多大な影響を与えた、新プラトン主義の創始者とされる哲学者は誰か。 (2025年 全国公立入試 類似)

1. エピクテトス 2. プロタゴラス 3. デモクリトス 4. プロティノス

問8 イスラーム教において、信仰告白や礼拝などと並び、信徒が果たすべき「五行」と呼ばれる義務の一つであり、富者が貧困層の救済などのために自らの財産の一部を拠出する義務的な施しを、アラビア語で何と呼ぶか。 (2018年 全国公立入試 類似)

1. サウム 2. サラート 3. ハッジ 4. ザカート

問9 イスラームにおいて、聖典である『クルアーン』や預言者ムハンマドの慣行（スンナ）などを法源とし、信仰生活から社会秩序、経済活動における利子の禁止に至るまでを規定する、ムスリムが従うべき法体系を何というか。 (2021年 全国公立入試 類似)

1. ハディース 2. ファトワー 3. シャリーア 4. タウヒード

問10 大乘仏教において、すべての存在には固定的な実体がないという真理を指し、救う自己や救われる対象といった区別への執着を排して、純粋な慈悲を実践するための思想的基盤となった概念は何か。 (2014年 全国公立入試 類似)

1. 空 2. 中 3. 識 4. 有

問11 アテネの民主政期に活動したある思想家は、ソフィストたちの相対主義を批判し、魂（プシュケー）を美しくすることの重要性を説いた。彼は、自分が善美の事柄について何も知らないということを実感することこそが、真の知恵を愛し求める出発点であると考え、問答法（助産術）を通じて人々にその自覚を促した。この人物は誰か。 (2023年 全国公立入試 類似)

1. ゴルギアス 2. ピタゴラス 3. ソクラテス 4. エピクロス